

第5期基本計画期間における資源配分方針と見積り方針調整の進め方について (案)

■ 目的(ミッション)

第5期科学技術基本計画のもと、科学技術イノベーション政策の全体像を俯瞰した上で、限られた資源を必要な分野・施策に適切に配分するため、科学技術イノベーション総合戦略、科学技術関係予算の資源配分方針及び見積り方針調整等に生かし、これらを一体的に運用する。さらに、科学技術イノベーション予算戦略会議を一層活用することにより、関係府省の科学技術イノベーション政策への反映を確かなものとする。

■ 考え方

(1) 科学技術イノベーション政策の全体俯瞰(戦略の策定)

① 科学技術関係予算の全体俯瞰

第5期科学技術計画期間を通じて、科学技術関係予算等を体系的に整理し全体像を把握する。

② 他の司令塔等関係予算との連携

科学技術関係予算は広く様々な分野に係るものであることから、他の司令塔等(IT、宇宙、海洋、健康・医療、環境等)の関係予算・施策の把握に努め、相互の連携を図る。

③ エビデンスに基づく予算配分方針の策定

民間資金を含む我が国の科学技術投資等エビデンスを収集し、それらを踏まえ、科学技術関係予算の配分方針として科学技術イノベーション総合戦略に反映する。

(2) PDCAサイクルによる科学技術関係予算の質の向上(戦略の実行)

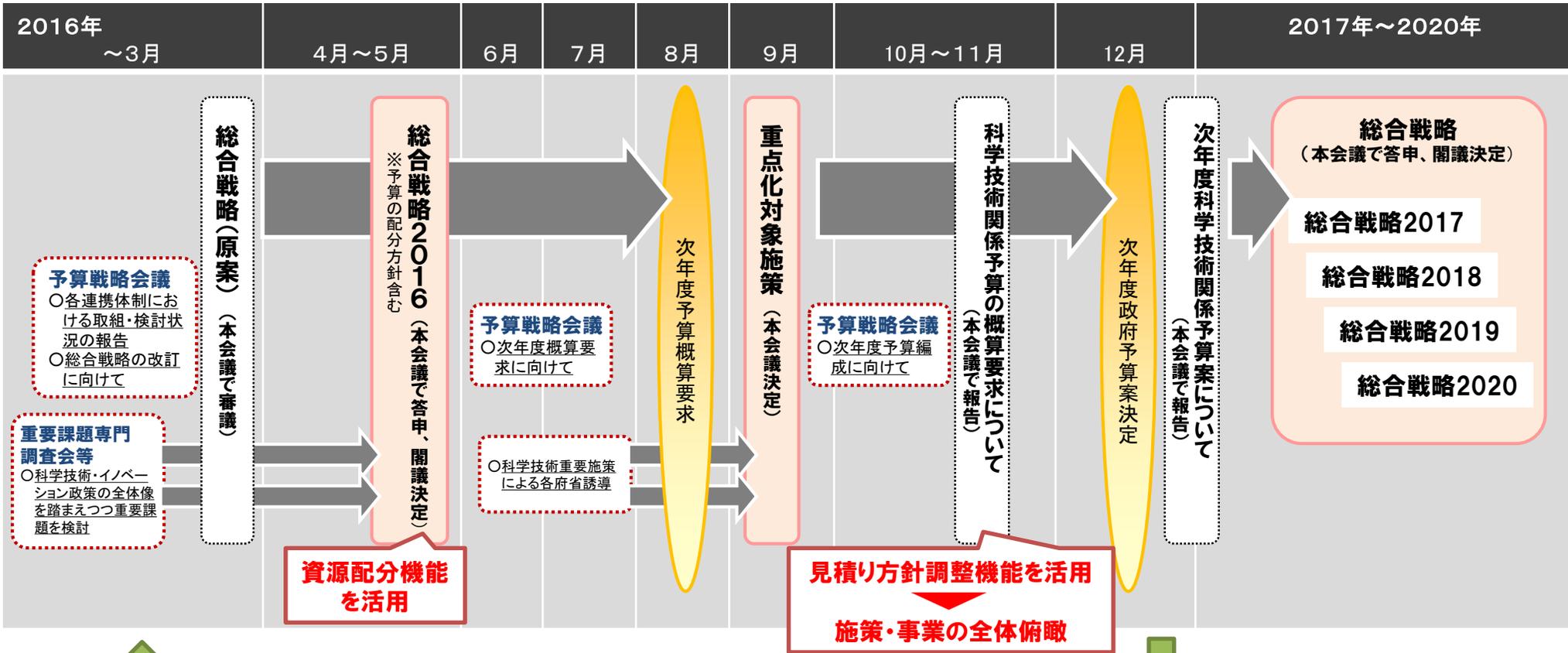
① 第5期基本計画や毎年度の科学技術イノベーション総合戦略の実現に必要な主要取組について、具体的な達成目標と達成時期(KGI)、その測定指標(KPI)を設定する。(工程表の策定)

② 上記について、毎年度進捗状況をフォローアップし、次年度の総合戦略に反映する。(工程表の改訂)

③ 科学技術関係予算、施策・事業の全体像を踏まえ、総合戦略に基づき、目標の達成に向けてより効果的な施策について予算を重点的に配分すべく「重点化対象施策」を特定する。

④ 基本計画期間を通じて、年度単位で上記(1)と(2)①～③のPDCAサイクルを回す。(目標や指標の適正性の評価等)

科学技術関係予算の編成プロセスのイメージ (第5期基本計画期間における編成)



A

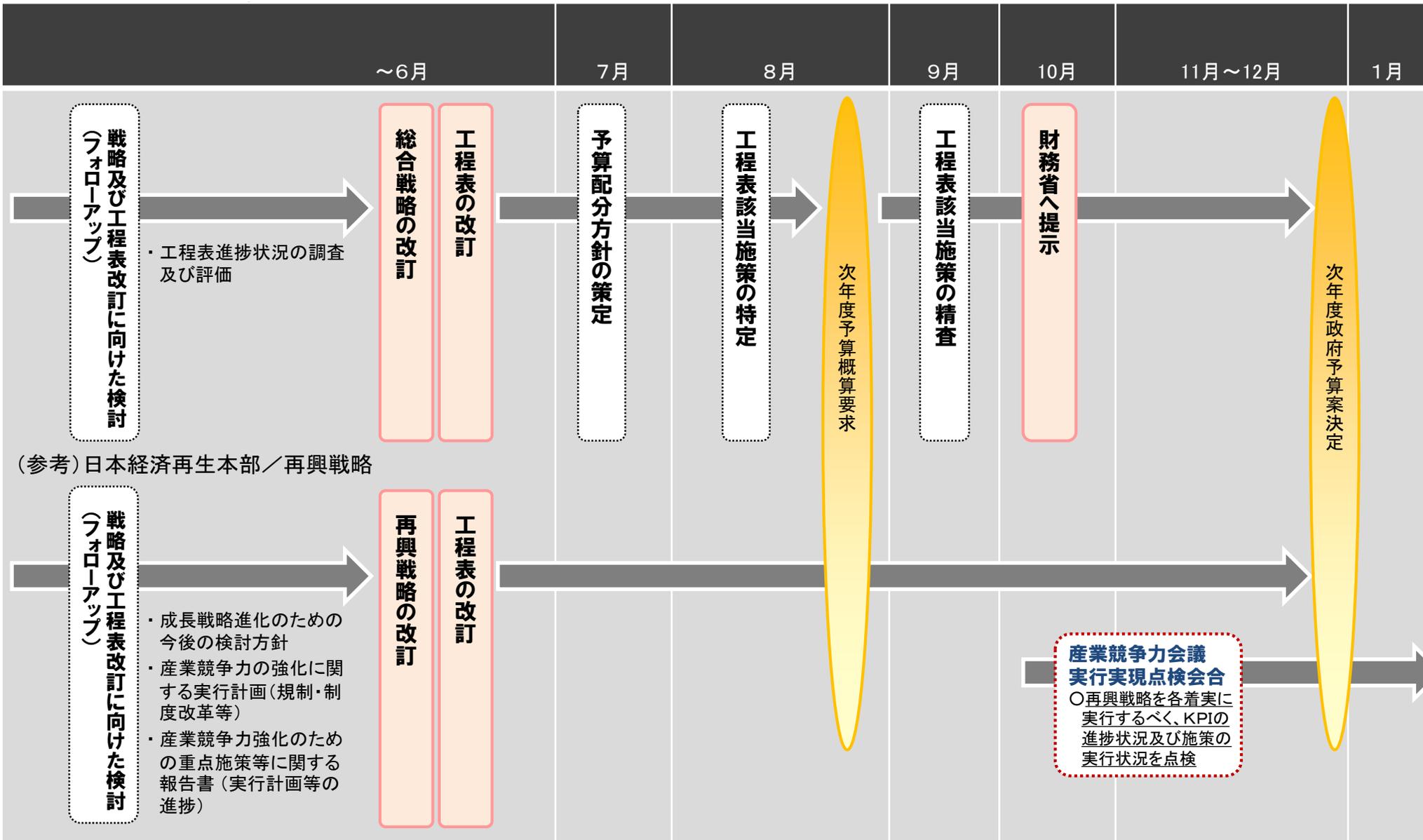
P

科学技術イノベーション総合戦略・工程表の策定

- P ➤ 政府一体となって総合戦略を実現するための連携体制の構築
- D ➤ 関係府省における施策・事業の実施
- C ➤ 基本計画、総合戦略実現に向けた取組の進捗状況のフォローアップ

(参考)司令塔関係予算の編成プロセスのイメージ

※司令塔の事例をもとに作成



(参考)日本経済再生本部／再興戦略